



HTTP/HTTPS プロキシ ポリシー

- [HTTP/HTTPS プロキシ ポリシーについて \(1 ページ\)](#)
- [HTTP/HTTPS プロキシを使用する Cisco APIC の機能 \(1 ページ\)](#)
- [GUI を使用した HTTP/HTTPS プロキシ ポリシーの構成 \(2 ページ\)](#)

HTTP/HTTPS プロキシ ポリシーについて

リリース 5.2(1)以降では、インターネットアクセスを必要とする機能のために、Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) で HTTP または HTTPS プロキシ アドレスを構成できます。構成されたプロキシアドレスを自動的に使用する Cisco APIC 機能に加えて、Cisco APIC の周囲のエコシステムも Cisco APIC のオブジェクト proxyServer にクエリを実行できるため、複数のプラットフォームでプロキシ情報を構成する必要なく、エコシステムが Cisco APIC と同じプロキシサーバーを使用できます。

HTTP/HTTPS プロキシ ポリシー自体は、各 Cisco APIC 機能が使用する管理ネットワーク（帯域外または帯域内）を制御または変更しません。Cisco APIC 接続設定で管理ネットワーク設定を指定できます。詳細については、*Cisco APIC ベーシック コンフィギュレーション ガイド* の「管理」の章の「管理アクセスの追加」セクションを参照してください。

HTTP/HTTPS プロキシを使用する Cisco APIC の機能

HTTP または HTTPS プロキシサーバーを構成した場合、次の Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) 機能により、プロキシサーバー経由でトラフィックが送信されます。

- Cisco Intersight デバイス コネクタ
- Cisco APIC GUI内蔵のフィードバック機能



(注) リリース 5.2(1) より前の Cisco Intersight - デバイス コネクタには、組み込みのプロキシ設定がありました。この機能は、現在、Cisco APIC の HTTP/HTTPS プロキシポリシーに存在します。

GUI を使用した HTTP/HTTPS プロキシ ポリシーの構成

次の手順では、HTTP または HTTPS プロキシ ポリシーを構成します。初回セットアップ ウィザードを使用してプロキシ設定を構成することもできます。初回セットアップウィザードの詳細については、*Cisco APIC* ベーシック コンフィギュレーション ガイドの「初回セットアップウィザード」の章を参照してください。

ステップ 1 メニュー バーで、[システム (System)] > [システム設定 (System Settings)] の順に選択します。

ステップ 2 ナビゲーションウィンドウで、[Proxy Policy (プロキシ ポリシー)] を選択します。

ステップ 3 [作業 (Work)] ペインで、必要に応じて [HTTP URL] または [HTTPS URL] フィールドに URL を入力します。

プロキシサーバーで認証が必要な場合は、次の形式を使用します。

```
http[s]://[username:password]@proxy-server[:proxyport]
```

ステップ 4 (任意) [ホストを無視 (Ignore Hosts)] テーブルで、[+] をクリックし、HTTP または HTTPS プロキシを使用しないホストのホスト名または IP アドレスを入力して、[更新 (Update)] をクリックします。

HTTP または HTTPS プロキシを使用しないホストをさらに追加する場合は、この手順を繰り返します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。